

令和2年度

第2回地域家庭教育推進南会津ブロック会議

日 時：令和2年12月9日（水）13：30～

会 場：御蔵入交流館 会議室 参加者22名

「親の自己有用感を高める家庭教育の支援のあり方」

第1回ブロック会議と同様、KJ法によるグループ協議で活発な話し合いがなされ、建設的な意見がたくさん出されました。テーマの「親の自己有用感を高める家庭教育の支援のあり方」は県の推進協議会のテーマでもあり、域内ではどのような支援が可能か話し合われました。

【これまで取り組まれていること】

就学時健診

- ・講話を通し保護者の考えに触れることができる。
- ・ワークショップ形式で自由に話せる雰囲気がとてもよかった。

家庭教育支援の会

- ・講話の後のグループの話し合いでは時間が足りなくなるほどになることが多い。今後も活動の中に取り入れたい。

【課題】

- ▲自己評価を「良い」とする親は少ないのではないか。
- ▲親が自分を見つめる時間や機会、心の余裕がないのではないか。
- ▲親が子供のためにしている様々なことを周囲から「当たり前」と思われているのではないか。
- ▲家庭教育＝女性の役割という意識がまだまだあるのではないか。

学校や保育所、子ども教室

- ・自由参観日や教育相談等の「場」を設けている。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を行っている。
- ・子育てを頑張っている様子を直接伝え“認める”ようにしている。
- ・お迎え時に声をかけ、話しやすい環境をつくっている。

【今後取り組みたいこと＜提案＞】

【研修会】

- 親子体験活動の継続推進（地域の人材を活用して）
- 地元企業がいくつか集まってグループ研修会（講演会やワークショップ）
- 職場で気軽に見ることできるオンライン研修会（動画配信含む）
- 講演内容や講師の選定を参加者の手で（ニーズの直接実現）
- 父親・祖父母の研修会（子育てへの協力＝子育てを認める）

【周 知】

- ◇家庭教育支援団体の周知と支援団体からの情報発信
- ◇町広報誌等の紙面掲載の拡大（町村の協力）
- ◇SNS[YouTube]を活用したPR

【イベント】

- ☆月1回の「感謝デー」で気持ちを表そう！
- ☆お茶でもしながらつながろう！



【グループ協議(KJ法)にて】



【情報共有】